



# 兵庫支部NEWS H20年 3月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(TEL078-792-6130)  
ホームページ: <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: [hn75kb@ybb.ne.jp](mailto:hn75kb@ybb.ne.jp)

購読料 12回1,500円(送料込)  
購読のお申し込みは郵便振替  
振替口座00980-2-245822  
口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

## 前兵庫支部長銭谷勘一郎氏逝く

「囲碁の会」設立・20周年記念誌発行に尽力



かねて故郷門司に帰り、病氣療養中であつた前兵庫支部長銭谷勘一郎氏は、3月13日(木)午前5時19分永遠の眠りについた。

葬儀はベルコシティホール門司にて3月15日(土)午後1時から執り行

銭谷勘一郎氏 われ、初代兵庫支部長で、現在同窓会本部事務局長の村山昌生氏が参列し、兵庫支部会員一同の哀悼の意を伝えていただいた。

銭谷氏は、平成13年7月ホテル姫路プラザで開催された第15回兵庫支部総会に参加されたのが、兵庫支部との関わりの始まりである。その席上で「囲碁の会」設立を呼び掛けて、自ら碁盤・碁石を購入して、平成13年9月に「三金会」会場の「フリージア」で「囲碁の会」を発足し会長に就任された。

その後、関西支部囲碁同好会との交流戦を企画され、平成15年2月に第1回交流戦を開催し、毎年春と秋に開催されている。

平成18年7月開催の第20回兵庫支部総会で第4代支部長に選出され兵庫支部設立20周年記念誌発刊の陣頭指揮をとり、平成18年10月下旬に発刊の運びとなったことは、兵庫支部会員諸氏には記憶の新しいところである。

また、組織活性化委員会を立ち上げ、若い人たちの参加のきっかけを作ろうと「平成の会」の育成を手懸けた。

一昨年末直腸がんの手術で入院され、昨年1月には一度退院されたが、再度入院され肝臓がんの摘出手術を受けるなど懸命の闘病生活の結果3月の三金会には快気祝いを持参して出席されるほど回復されていた。

昨年7月には生田神



囲碁を楽しむ銭谷氏(右)

## 第29回三金ゴルフ

3月29日(土) 於神戸三田ゴルフクラブ

平成5年6月第1回三金ゴルフが、当時の堀江支部長の発案で開催されて以来、毎年春と秋に開催され、16年目を迎え、今回で29回目となる。

参加者は多いときは20人となった時もあるが、最近では12人前後に落ち着いている。

今春の三金ゴルフは下記のとおり、3月29日(土)に予定されているが、19日現在9名の参加申し込みと少ない。4組16名分を確保しているため、ご都合のつく方は是非お申し込みください。

記

第29回三金ゴルフ開催要領

開催日時: 平成20年3月39日(土)

午前8時14分スタート(アウト)

開催場所: 神戸三田ゴルフクラブ(旧三田国際GC)

三田市大川瀬1167

TEL 097-568-1371

プレイ費: 13,500円(セルフ) 昼食つき

会費: 2,000円

申込み先: 三金ゴルフ世話人代表 松山 仁

TEL 携帯 090-3286-2979

会社 078-232-1877

自宅 078-791-3327

参加予定者(19日現在) 敬称略・順不同

安徳信義(44商) 松山 仁(44商) 山田紘昭(44商)

久芳健二(44商) 名倉勝征(41米) 河野旺生(36商)

高山行雄(45米) 山本信二(37米) 謝 美華(ゲスト)



社会館で開催された兵庫支部総会では、元気に支部長の務めを果たされ、10月の全国支部長会議及び総会懇親会にも元気に出席された。

その後の検診で再発が確認され、療養に専心する為支部長を辞任し、親類・縁者の多い故郷門司への転居を決意された。11月の役員会議が事実上のお別れの会となった。

謹んでご冥福をお祈りします。



## 「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

中国 雲南茶苑

Tel. 078-271-1168

神戸市中央区中山手通

1丁目24-4

ドラゴンズビルB1F

「三金会」

午後6時～8時

会費: 3,500円

中国雲南省の家庭料理を  
ご賞味下さい。

「囲碁の会」

午後3時～6時



(山手幹線北の野坂、みなと銀行 地下1F)



損害保険・医療保険・がん保険  
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良  
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316



## 銭谷前支部長を偲ぶ

名越英昭 (37米英)

昨年末、兵庫支部NEWS 1月号に前支部長として新年挨拶を寄稿していただきたいと書状を出していたところ、お断りの電話を頂いたが、その時「この処ざっと寝たきりの状態だね」と言われたのが耳に残っている。あれから2ヵ月半、余りにも早い訃報の知らせに驚くとともに、心からご冥福を祈りたい。

銭谷氏と最初に会ったのは、平成11年10月に開催された同窓会本部の京都記念総会の会場であった。藤澤氏から紹介され、名刺代わりにきれいな花の写真をいただいたことを鮮明に覚えている。

平成13年7月姫路で開催された兵庫支部総会に初参加され、その席上で「囲碁の会」を作ろうと提案され、また一人貴重な人材が兵庫支部に加わったことを非常に嬉しく思ったものでした。

早速9月から「囲碁の会」を発足させるにあたり、碁盤・碁石を買い求め、各人の棋力を測るためテストを実施するなど、会の立ち上げにご尽力頂きました。

また、関西支部囲碁同好会との交流戦も実現され、いまや支部活動の根幹を成しています。

平成18年7月に第4代支部長に就任され、20周年記念誌発刊に際しては、資金不足対策に会員諸氏から協賛金を募るという大胆な発想で見事に成功に導かれました。

昨年11月の役員会は次期役員構成を協議するためだったが、図らずもお別れの会となってしまう、銭谷氏希望の「カラオケひばり」での忘年会に出席されることなく兵庫支部を去られて、さぞ心残りだっただろうと、ご心中を察するばかりでした。

どうぞ安らかに眠り下さい。 合掌

## 九州六大学野球は4月18日開幕

2008年度の九州六大学野球春季リーグ戦は、4月18日(金)ヤフードームで開幕する。

今年は主軸に破壊力のある九州国際大学とエースが安定感を増している福岡大学が優勝争いと予想されているが、徳永監督が復帰した北九州市立大学も奮起を期待したい。(西日本新聞ウェブニュースより)

## 北九大優勝も、I部昇格ならず

### 2007年度九州大学ラグビー

2007年度の九州大学ラグビーII部リーグ戦は、9月22日から11月25日に亘って熱戦を繰り広げられたが、北九州市大と日本文理大がともに6勝1敗と並んだが勝ち点の差で北九大が優勝した。

II部リーグ戦は8校が1回戦総当りで争われるが、勝ち点制により順位が決定される。1位と2位がI部リーグ戦の7位・8位と入れ替え戦を戦う。

一方I部リーグ戦も8校でAグループとBグループに分かれ2回戦総当たり戦で争われ、それぞれのグループの順位によりトーナメント戦で優勝争いをする。

今年は福岡大が圧倒的な強さで優勝し、全国大学選手権に出場したが、京都産業大と福岡で初戦を戦い、5-43のスコアで敗退した。

II部リーグで優勝した北九大は、I部入りを目指して12月1日にI部リーグ戦最下位の九州産業大との入れ替え戦に臨んだが、21-27で昨年に続いて、I部入りを果たせなかった。II部2位の日本文理大もI部7位の九州大との入れ替え戦で、10-30と敗れ、I部昇格を逃した。

II部リーグ戦の成績および入れ替え戦の結果は下記の通り。

### 2007年度九州大学ラグビーII部リーグ戦成績表と入替戦結果

	北九大:勝点	日本文大:勝点	西南大:勝点	沖国大:勝点	熊本大:勝点	鹿体大:勝点	久大:勝点	九国大:勝点	勝敗	分	勝点	順位
北九大		○31-12 5	○43-19 5	○63-17 5	○39-5 5	●29-28 2	○60-10 5	○100-5 5	6	1	32	①
日本文大	●12-31 0		○31-19 5	○43-22 5	○22-19 4	○58-5 5	○36-16 5	○71-13 5	6	1	29	②
西南大	●19-43 0	●19-31 0		○27-19 5	○52-7 5	○19-17 4	○51-0 5	○82-14 5	5	2	24	③
沖国大	●17-63 0	●22-43 1	●19-27 0		○19-17 4	○45-38 5	○31-29 5	○39-14 5	4	3	20	④
熊本大	●5-39 0	●19-22 1	●7-52 0	●17-19 1		○33-26 5	○50-12 5	○77-7 5	3	4	17	⑤
鹿体大	○28-26 5	●5-58 0	●17-19 1	●38-45 2	●26-33 2		●19-25 1	○71-0 5	2	5	16	⑥
久大	●10-60 0	●19-36 0	●0-51 0	●29-31 2	●12-50 0	○25-19 5		●13-52 0	1	6	7	⑦
九国大	●5-100 0	●13-71 0	●14-82 0	●14-39 0	●7-77 0	●0-71 0	○52-13 5		1	6	5	⑧

入替戦：北九大(II部①)21-27九産大(I部⑧) 日本文理大(II部②)10-30九大(I部⑦)  
九国大(II部③)10-51福岡経済大(III部①) 久留米大(II部⑦)12-12九工大(III部②)

勝点制：a 勝ち点：4点、引き分け：2点、負け：0点

b ボーナス点：(1)負けても7点差以内なら1点、(2)勝敗に関係なく4トライ以上獲得で1点

注：日本文大=日本文理大、沖国大=沖繩国際大、鹿体大=鹿屋体育大、久大=久留米大、九国大=九州国際大、西南大=西南学院大



## 兵庫支部月例会 2月「三金会」

2月15日(金)午後6時過ぎ、大村支部長以下、同窓生8名が集まり、雲南茶苑にて「三金会」が開催された。

出席者：大村実良(33商) 藤田博保(35商) 高尾 巖(36商) 平間正昭(37商) 名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 安徳信義(44商) 澤田英憲(44経営) 佐藤研二(H8法律) 以上9名

かつては三金会常連だったが、1年以上もご無沙汰だった高尾氏が久々に出席、また、澤田氏と佐藤氏も三金会会場が雲南茶苑に変わって以来初めての出席。

先ず、大村支部長から忘年会の収支について、ほぼトントンとの報告があり、続いて兵庫支部総会について協議。安徳幹事長から、実行委員として三宅幹事と



(三金会風景)

佐藤幹事を指名し、これから会場の選定を進めるとのこと。会場の雲南茶苑はいつになく来客が多く、電子オルガンを持ち込んでいる客があり、聞き慣れた演歌の演奏あり。聞けば日本テレビ出身の人とか、思いがけぬ演歌カラオケを楽しむひと時が。後は定番のママ李紫君さんのピアノ弾き語り、素晴らしいソプラノの中国民俗歌でお開きとなる。

## リーグ戦再開は3月から

「囲碁の会」は、リーグ戦再開を3月から始める事にした。リーグ戦参加者は大同7段、平間3段、山本2級、名越3級、前原4級、河野7級、安徳8級の7名で、総当り2回戦で実施される。

これまで仕事の都合で十分に参加できなかった河野7級も本格的に参加を表明され、期待されている。

なお、大村支部長も1局試しうちされ、その実力の片鱗を披露されたが、工作上参加は叶わず、又の機会を待たざるを得ないようだ。

## お詫び

大変遅くなりましたが、3月号がやっと出来上がりましたので、お届けいたします。

言い訳ではないのですが、パソコンが突然にサボタージュを始めて、20~30分作業するとフリーズしたり、ブラックアウトしたり、その都度電源の入れ直しを余儀なくさせらる状況。保存し損なった部分の再打ち込み、続けて再起動すれば作業時間も短縮されるため、10~20分ほど時間を置いて再起動したりと、いらいらしながらも、辛抱強く、兎も角休刊だけは避けたいと、何とか仕上げる事が出来ました。

この後、全てのバックアップをとり入院させ、4月には正常化を図ります。今後とも宜しくお願いします。

## 投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など  
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

## 広告大歓迎

掲載料：1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

## 歩こう会2月例会金剛山登山(つづき)

山頂広場の気温は-0℃を示している。食事中に頭上の樹木に積もった雪が時々ドサッと落ちて来たりする。どこから迷い込んで



来たのか、猫が雪上で丸くなっていて。これを見た通り客が“猫は炬燵で丸く



(気温は-0℃)

なる”とロズさんでいた。

山頂広場は登山客で賑わっていた。昼食場所を探し求める人達も多い。我々も約1時間ばかりの食事いや

宴を12時半頃に終えて、昼食場所を明け渡し、記念撮影をするため「金剛山頂

1125m」の標識のあるもう一つの山頂広場へと向かった。

(写真は4頁に掲載)

しばらく広場で時間を過ごす。子供たちは雪だるま作りを楽しむ。

1時過ぎに下山開始。転法輪寺の前を通り、葛木神社方面へと向かう。転法輪寺には樹齢200年以上という“しだれ桜”が5月上旬に満開となるそうだ。

30分ばかりで、山上のロープウェイ駅付近のピクニック広場に到着。ここも家族連れの登山客で賑わっていた。広場の中央に盛り上げられた雪山が子供達の格好のソリ遊び場となっていた。



(ソリ遊びに興じる子供達)

同行の子供達も、ソリ代わりにビニールシートをお尻に敷いて滑りを楽しみ、満足したようだ。

広場で暫くお遊んだ後、麓のバスターミナルを目指して一気に下山。途中、ソリを持った子供連れの登山者に幾組みも出会い、この山が本当に市民に愛されていると実感させられた。

## 4月歩こう会は姫路で花見

今年の桜の開花は例年より少し早めのように、4月例会の頃、13日は盛りを過ぎているかも知れませんが、姫路城で花見と決定しました。姫路菓子博の開催が予定されているお城周辺の視察を兼ねたウォーキングも良いのでは？多数の皆様のご参加お待ちしております。

開催日時：4月13日(日)午前10時

集合場所：JR姫路駅中央出口(北側)



## 歩こう会2月例会

## 雪道踏みしめ金剛山登山

平成20年2月10日(日)毎年恒例となっている冬の金剛山登山が実施された。

前日まで今冬一番の寒さで、阪神間も薄っすらと雪景色となり、金剛山頂は物凄く冷え込みだろうと思うとちょっぴり腰が引けていたが、勇を奮い起こして参加することにした。

午前7時に阪神梅田駅西口に集合したのは二宮会長、藤田顧問、安徳、名越の同窓生4名とゲスト参加の岡本氏及び謝さん一家と友人の9名合計14名、そして南海難波駅で合流の平間を加え総計15名で金剛山頂を目指すことになった。

8時過ぎに南海電車高野線河内長野駅に到着、バス乗り場はすでにバスを待つ人々が長い行列だ。この寒い時期によくもこんなに多くの人達が登山に集まってくるものだと感心する。臨時バスも出るようだが、なんとか1台目のバスに乗り込む事ができた。

登山口バス停で下車。路側には相当量の残雪があり、早速アイゼンを装備する人も。

登山道入り口までやってきて、しばらく待って後続の人がやってきたところで、平間氏と一緒にゆっくりと登山道を登り始めた。

登山道はすっかり雪道と化していたが、上り坂での歩行では比較的足を滑らすこともなく歩けるので、しばらくはアイゼンも取り付けず進む。4~500mばかり行くと美味しい清水が湧出している水飲み場に到着。ここで一息入れてアイゼンを装備。

やがて右手に行くと千早城の道標があり、行ってみようかと思ったが、余り人が通っていないようで、道は雪深そうなので大事をとり直進する。

今度は左手に楠木正儀の墓がある。一説には楠公の首塚と言われている由。誰も訪れていない為雪が深くズボーンズボーンと足が入ってゆくがお墓参り、でも楠木正儀とはどんな人?

ここから少し急な階段状の登り道が続く。休み休みしながら平間氏とゆっくりと登っていくが、後続の人たちの姿が見えない。

子供連れなので雪道を遊びながら登っているのかなと想像。当方は息切れして足取りも遅いので後続に迫って来られるよりは気楽に登れるとは思いつつも、余り遅いのでちょっと気になる。



(河内長野駅前のバス待ち行列)



(路側には残雪が)



(楠木正儀の墓)



(階段状の急坂を登る)

やがて藤田氏が、上着を脱いだ軽装で追いついて来た。六甲全山縦走5回踏破という猛者には従って歩けないので、先に行ってもらおう。

途中、下山中の平間氏と元同僚とかいう人とばったり遭遇。樹氷をバックに記念撮影をしてもらい別れる。

ここから頂上まではあとわずか5分ばかりである。

山頂広場に到着したのは11時過ぎだ。約2時間掛かったことになる。

毎日早朝ウォーキングを続けている安徳・岡本両氏は、かなり早く到着して、山頂広場の登山回数記録版の前のテーブル席を確保して、持参の携帯コンロを準備して皆の到着を待っていた。

後続の人達を待つ間に、知人の登山回数記録を調べようと記録板を見て回る。

高校の後輩(各地の市民マラソンに参加している)

は、2000回以上(豊嶋平和さん(一番左)は400回以上)回以上に名札が上がっていた。又、小生の縁者で堺市在住の夫妻はそれぞれ1750回以上、850回以上となっていた。後日連絡すると、中毒患者で金剛山病院に通っている人達と近所で言われているとか。



(山頂広場で昼食)

昼食が始まった。携帯コンロで沸かした湯でおでんや日本酒を温めたり、カップラーメンを作る。(3頁へ)



(昼食後山頂1125mで記念撮影)



(藤田氏(左)と平間氏)



いつも山頂の茶店で待っていてくれた豊嶋平和氏は今回は所用で不参加だったが、4年前頃から本格的に金剛山登山を始められ、既に400回以上に名札を上げている。

遅れてきた人達も到着し賑やかに